

# 朝の館内放送

令和5年4月4日

おはようございます、市長の中村健です。

この4月より、新たな総合計画である「にしお未来創造ビジョン」の計画期間がスタートしました。

巻頭の挨拶の欄において、時代認識やまちづくりへの思いなどを凝縮して記していますが、施政方針が1年、所信表明が4年を対象期間としているのに対し、総合計画は10年となります。

行政運営をしていく上で、すべての計画の土台となるものであるため、挨拶文を読み上げ、今月の館内放送としたいと思います。

人口減少と少子高齢化、日進月歩で進化するテクノロジーへの対応、地球規模での環境問題など、私たちは今、数々の深刻な問題に直面しています。さらに、変化が速く不確実性が高い社会経済状況の下、多くの方が先行きを見通せず閉塞感が漂っています。

また、生き方や価値観が多様化する中、SDGsの理念でも掲げられている「誰一人取り残さない」社会の実現が求められている一方で、自分の考え方と相容れないものを排除しようとする「分断」の動きが世界各地で大きな問題となっています。

このような時代だからこそ、楽しみ、期待、希望に繋がるワクワク感を志向することが重要であると考え、本ビジョンでは、「もっとワクワクするまち にしお」を将来都市像として掲げることといたしました。

複雑多様化する行政ニーズに応えるため、市民や民間事業者の皆さまが持つ知恵やノウハウを活かし、ゼロからイチを創り出していく「共創のまちづくり」と、国籍や障害の有無、立場や考え方など、様々な違いがあることを前提に、一人ひとりが自分に居場所があると感じることができ、生き生きと暮らしていける「共生のまちづくり」をキーワードに、市民、事業者、行政が「ONE NISHIO」となって閉塞感を打ち破り、ワクワクする明るい未来を切り拓いていきましょう。

以上で、朝の館内放送を終わります。